

個別最適な学びに向けて

つい先日まで2階のロビーや教室等、いたるところで朝の始業前や昼休み、放課後等に生徒と担任の個人面談が行われている姿がよく見られました。個々の生徒の興味関心や新しいクラスでどのように過ごしているか、学習や部活動、進路等で悩み事はないかといった個々の生徒の様子を知ることを目的として行われていました。面談が始まると、堰（せき）を切ったようにしゃべり始める生徒がいるかと思えば、必要最低限のことしか答えようとしない生徒なども当然います。担任は生徒が話をしやすいような質問をしたり、とにかく傾聴の雰囲気をつくりあげる工夫などをいろいろとしています。こうした、授業以外の生徒の一面を知ることができる機会は、担任にとっても大切な時間です。

また、ロビースペースでは質問をしてきた生徒に先生が個別でアドバイスをを行っている姿もよく見かけます。国が2020年代を通じて実現すべきとしている「個別最適な学び」の前提として、**生徒の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することが大切**とされています。本校でも従来から行っていた、先のような実践を積み重ね、**生徒一人ひとりの進路実現を目指すとともに、学校生活がより充実したものになるよう**尽力していきたいと思えます。

